



教授

佐土原 聡

サドハラ サトル



大学院都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門
工学部 建設学科 建築学コース
理工学部 建築都市・環境系学科 建築教育プログラム
大学院都市イノベーション学府 建築都市文化専攻
大学院都市イノベーション学府 都市イノベーション専攻
sadohara@ynu.ac.jp
<http://future-cities.ynu.ac.jp/>

建築環境・設備
地域エネルギー計画
地理情報システム (GIS)
環境調和まちづくり
都市防災
地球環境と防災

【研究概要】

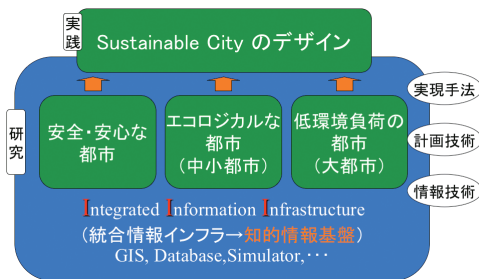
地球温暖化をはじめとした地球環境問題、ヒートアイランドなどの都市特有の地域環境問題が発生し、環境リスクが高まっています。また、地震の活動期に入ったと言われる日本列島に位置し、地球温暖化に伴う風水害の激化、都市化の進展にともなう災害への脆弱性の増大などから、多くの災害リスクに直面しています。私の研究室では、これらの課題の解決によって持続可能な社会をめざし、真に環境と調和した安全な都市環境の実現に向けた実践的研究を行っています。研究テーマは大別して、「都市防災」、「環境調和まちづくり」、「都市インフラ計画」、「都市環境デザイン」があり、これらを相互に連携して研究活動を進めています。また、研究活動に地理情報システム (GIS) を積極的に利用しています。環境を統合的・俯瞰的にとらえる支援ツールとして活用し、分野横断・文理融合による持続可能な都市のデザイン、実現をめざす知的情報基盤構築に取り組んでいます。

【アドバンテージ】

GIS を基盤とした時空間情報技術を活用して、科学的な知見に基づく地域研究を行うことが特色です。また、共通の対象地域を設定し、問題解決に向けた異なる分野の連携、文理融合研究を推進する手法も研究しており、そのための多分野の関係性を整理する概念フレームの構築を研究しています。この概念フレームと時空間情報基盤を用いて問題解決型の研究を推進します。

研究会』の会長を務めています。同研究会の詳細は以下を参照ください。

<http://future-cities.ynu.ac.jp/>



【事例紹介】

神奈川の拡大流域圏(自然の流域だけでなく、人工的な水移動・水利用地域も含めた圏域)を対象に、健全な水量・水質を持続的に確保することをめざした多分野協働の研究を推進しており、そのための概念フレームの開発、時空間情報基盤の構築を行っています。また、地域実践教育研究センターに事務局を置く、産学官コンソーシアム『地球環境未来都市研

■ 相談に応じられるテーマ

地域における未利用エネルギー等の活用
地理情報システム (GIS) を活用した環境・防災に関わる研究
流域環境のマネジメントと地域再生
市民協働による環境まちづくり

■ 主な所属学会

日本建築学会
地域安全学会
日本都市計画学会

■ 主な論文

『首都圏における地域防災力向上のための自立分散型拠点構築に関する調査分析』『地域安全学会論文集』2008.11
『「地球環境」と「防災」の体系的整理と統合化の試み』『日本建築学会総合論文誌第6号』2008.2
『地域間で「エコ資源」融通—冷温水や排熱の無駄防— 既存施設を有効利用—』『科学新聞』2007.6

『地域防災力向上のための自治会町内会における地域コミュニティと災害対策に関する調査研究—横浜市内の自治会町内会を対象としたアンケートに基づく考察—』『日本建築学会計画系論文集』2006.11
『流域圏環境アセスメントのための空間情報プラットフォームの構築に向けた基本概念—流域圏環境アセスメントのための空間情報プラットフォームに関する研究— その1』『日本建築学会大会学術講演梗概集』2006.9

■ 主な特許

「崖崩壊予測装置及び崖崩壊予測用コンピュータプログラム」特許第4104135号

■ 主な著書

「都市・地域エネルギーシステム」鹿島出版会, 2012.11
「里山創生—神奈川・横浜の挑戦—」創森社, 2011.11
「時空間情報プラットフォーム—環境情報の可視化と協働—」東京大学出版会, 2010.7
「図解! ArcGIS—身近な事例で学ぼう—」古今書院 2005.5
「都市環境学」森北出版 2003.5